職



学んだことをいかし、 目分にできることをしたい

書記局支部 越智 太一

見て、感じて、学べば学 恐ろしさを知りました。 りませんでした。参加し いて深く考えたことはあ しました。これまで僕は 代表団の一人として参加 ふほど、核兵器や戦争の し広島で起こったことを

の方のお話もお聞きし、 す。犠牲者の9割以上が 今もなお苦しんでいるこ 民間人と聞き、さらに悲 ないことを広島で学びま とをリアルに感じること たけで心が痛くなりま かなか感じることはでき しくなりました。被爆者 で何が起きたのかを見る た。足を止めて、ここ 普段の生活の中ではな

原水爆禁止世界大会に

爆や広島については、学

また、閉会総会で「核

ある日本が核兵器禁止条 約に署名しないのかと海

止世界大会・広島に大阪 今回、初めて原水爆禁 られました。広島の学生 きっと心の中には何か思 が無関心なのではなく、 参加していて、みんな核 や若い人たちもたくさん に考えています。誰しも 兵器や戦争について真剣

っているようで知らない 島で何が起きたのかを知 いがあると思います。広 者の苦しみ、戦争 の悲惨さを学び、 りました。核兵器 起きたのかを真剣 をしようと思いま 自分にできること なぜあんなことが に考える機会とな

当時のままの建物で現存する 資料館(本川小学校)



とを通して、僕たち青年

の方や核兵器廃絶をめざ 方が守ってきたものだと 存されているのは被爆者 して日々活動されている 感じました。しかし、残 動していく必要があると た原水爆に対する意識が 念ながら大阪ではまだま

ことが多く、被爆者の方

広島・長崎だけの問題ではない

っかり伝えていきたい

保健所支部

加藤

誠大

ていました。 公園に集まり黙祷を捧げ から多くの方が平和記念 関わらず、8月6日の朝 少ないと思います。 広島では、月曜日にも

器の危険さをしっかりと 分のまわりや後世に核兵 ではないと思います。自 になりたいと思います。 伝えることができるよう は広島、長崎だけの問題 思

の話をお聞きし、



人影が焼きついた石段 (平和記念資料館)

被災

首宅でのボランティア

ボランテ

ィア参加者の感想

リアルに実感災害の大きさを

2時間でした 参加して良 被災された方 こちらがパロ 作業させてもらって逆に ごせました。 ない体験がで るだけでは をもらえまし 大変でしたが心楽しく過 かったです。 でき、暑くて 万に逆に元気 感じることの した。たった が、見てい ーをいただ

なかったのですが、集中 ちを思うと何か手助けで 片づけ、まだまだ続くの た。泥出し、生活用品の できる配分だと思いまし で被災された方々の気持 だと思います。きつくは て働くことのできる限界

2~3時間が、がんばっ

みなさん(前列右が中川さん)活動を終えた国際がんセンターの

めるような状況ではない家の数 は言葉が出ませんでした。瓦礫 の山、街は砂だらけ、とても住 かに超える被害の大きさに初め を受けた真備町でしたが、ニュ 々を目の当たりにし、私は今日 ースで見ていたイメージをはる

感じることがたくさんありまし 加し、行ってみないと分からな いこと、考えさせられること、 今回初めてボランティアに参 岡山県内でも特に甚大な被害 れたみなさんの命があって本当 感でき、とてもいい経験をさせ やって一人一人のボランティア 当たり前ではないこと、被災さ って良かったと感じています。 の力が復興につながることも実 に良かったと思いました。こう 毎日普通に暮らせているのが

葉をかけていただき、本当に行

ろんな形で復興に協力していき ていただきました。 今後もできることがあればい

災害救援カンパへの ご協力をお願い

8月2日、3日には、本庁(大手前・咲 朝宣伝を行い、災害救援カンパを訴えまし で29,925円集まりました。ご協力いただ ・職員のみなさん、ありがとうございまし 府職労では引き続き、各職場や銀行振り 害救援カンパを受け付けています。ご協力 お願いします。

振込先

りそな銀行大手支店 普通の 大阪府関係職員労



り」のとき

「碑めぐ

んでした。 そのため

か知りませ 度のことし

生の頃に授業で学んだ程 いけない」というスピー もデジタルで管理されて リスクに気づき原水爆は チを聞いて、初めてその れる可能性も考えないと 廃止しないといけないと いる現在、ハッキングさ 今回の大会で学んだこ

原水爆についての問題 災害の大きさ れない。 うのが本音。 た。もう少し たかったとい ここで活動っ

